

目次

TitleExpress (タイトルエクスプレス)	3
使用するファイル	3
テキストを作成する	4
テキストを選択する	5
キャラクターマップを使う	5
テキストをインポートする	5
テキストを加工する	6
テキストのサイズを変更する	8
テキストのフォントを変更する	9
スモールキャプを使用する	10
テキストを斜体にする	10
テキストの行間を設定する	11
テキストの文字間を設定する	12
テキストの要素を変更する	13
テキストのエッジを設定する	13
テキストのエッジを浮き出し(エンボス)処理する	14
テキストのエッジに斜面(ベベル)を付ける	15
テキストのシャドウを設定する	15
スタイルを利用する	16
スタイルチップを利用する	16
スタイルライブラリでテキストスタイルを管理する	16
テキストスタイルを上書きする	17
テキストスタイルの名前を変更する	17
テキストスタイルを読み込む	17
名前リストを利用する	19
名前リストを作成して使用する	19
[名前リスト]にテキストを追加する	19
名前リストをインポートする	20
テキストの位置を決める	21
テキストを移動する	21
テキストを少しずつ移動する	21
テキストを中央にそろえる	22
テキストを左にそろえる	22
テキストを右にそろえる	23
テキストを自動改行する	23

色を設定する.....	24
禁止色を補正する	24
フェースの色を設定する	25
エッジの色を設定する	25
シャドウの色を設定する	26
透過性を設定する.....	27
テキストの透過率を変更する	27
傾斜を設定する.....	28
単純な色の傾斜を設定する	28
透過性の傾斜を設定する	29
線形の傾斜を設定する	30
放射状の傾斜を設定する	32
背景画像を設定する.....	34
背景画像を削除する	34
ロール / クロールを設定する.....	35
ロール/クロールを選択する	35
ロール/クロールのテキストを入力する	36
ロール/クロールの速度と時間	37
テロップテンプレートを使用する.....	38
テロップテンプレートを選択する	38
テロップを新規作成する	39
テロップを保存する.....	40
テロップをエクスポートする.....	41
環境設定.....	42
作業効率化のヒント.....	43
フィールドに値を設定する	43
テキストのサイズを変更する	43
テキストを移動する	44
テロップ内のテキストをすべて中央に揃える	44
ショートカット.....	45
テキストの書式設定	45
テキストの選択	46
テロップテンプレートリストのショートカットキー	46
一般のショートカットキー	46

TitleExpress(タイトルエクスプレス)

TitleExpress(タイトルエクスプレス)は、ノンリニア編集ソフトウェアEDIUS上で動作するタイトル作成ソフトウェア(タイトラー)です。

EDIUS上でTitleExpressを起動する方法については、EDIUSに付属のリファレンスマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

ご注意

このマニュアルでは、「タイトル」を「テロップ」と呼びます。

使用するファイル

TitleExpressでは、作成したテキストを、Inscriber ICGファイルまたは静止画ファイルとして保存します。また、Inscriber ICGファイルをインポートして加工することができます。

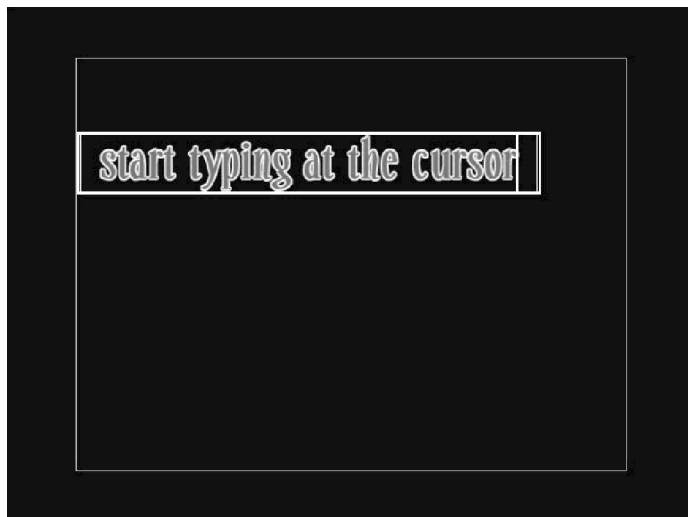
ICGファイルには、1つのテロップとサムネールサイズのビットマップ画像に関する情報が含まれます。また、ロゴ、テクスチャ、および背景のレイアウトに使われるファイルのディスク参照情報も含まれています。(実際のファイルのコピーは含まれていません。)

ICGファイルをインポートするには以下の手順を行います。

- 1 [ファイル]→[インポート]→[ICGファイルをインポート]を選択します。
- 2 インポートするICGファイルを選択して、[開く]をクリックします。

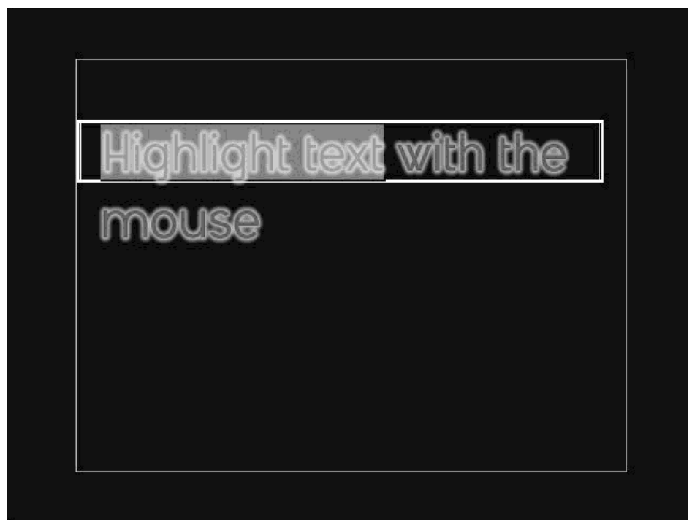
テキストを作成する

TitleExpressのワークスペース上にテキストを作成するには、テキストボックス内のカーソル位置に文字を入力します。



テキストを選択する

テキストを変更したり、加工するときは、変更/加工したい文字列を、マウスまたはキーボードの shift キーを押したままカーソルキーを押して選択し、ハイライト表示にします。



キャラクターマップを使う

以下の手順により、Inscriberキャラクターマップを使って、テキストのカーソル位置に特殊文字を挿入することができます。

- 1 テキストをクリックして選択します。
- 2 特殊文字を挿入したい位置にカーソルを合わせます。
- 3 [編集]→[キャラクターマップ]を選択して、[キャラクターマップ]ダイアログを開きます。
- 4 [キャラクターマップ]から特殊文字をクリックして選択します。
- 5 手順4を繰り返して、必要な特殊文字をすべて挿入します。文字を削除するときは[バックスペース]ボタンをクリックします。
- 6 [OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

テキストをインポートする

TitleExpressに、別のアプリケーションで作成したテキストをインポートすることができます。

- 1 [ファイル]→[インポート]→[テキストをインポート]を選択します。
- 2 インポートしたいテキストファイルを選択します。

テキストを加工する

テキストの属性を変更することにより、テキストを加工します。

- 1 マウスまたはキーボードを使って、加工したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 テキスト属性(下表参照)を設定してテキストを加工します。

設定項目	設定内容
フォント	テキストに使用するフォントを選択します。
高さ	[高さ]のフィールドに値を入力して、テキスト高を走査線数で設定します。縦横比固定ボタンをオンにしておくと、高さを変えたときに幅も自動設定されます。高さの変更は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。
幅	[幅]のフィールドに値を入力して、フォント幅をピクセル数で設定します。縦横比固定ボタンをオンにしておくと、幅を変えたときに高さも自動設定されます。幅の変更は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。
縦横比固定ボタン	縦横比固定ボタンをオンにすると、テキスト高とフォント幅を同時に設定できます。縦横比固定ボタンをオフにすると、テキスト高とフォント幅を個別に設定できます。
行間	[行間]のフィールドに値を入力して、テキストの行間を設定します。行間は、ある行のベースラインから次の行のベースラインまでの距離です。行間の値を入力したら、[エレメント]→[行間の適用]を選択します。設定した行間が、選択した文字列とそれ以降の全テキストに適用されます。
文字間	[文字間]のフィールドに値を入力して、隣り合う2つの文字の間隔を設定します。プラスの値を入力すると文字間が広がり、マイナスの値を入力すると文字間が狭くなります。文字間は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。

設定項目	設定内容
斜体	[斜体]のフィールドに値を入力すると、テキストの傾きを設定できます。プラスの値を入力するとテキストは右に傾き、マイナスの値を入力するとテキストは左に傾きます。テキストを斜体にしないときは0を入力します。斜体は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。
スモールキャブ	[スモールキャブ]のフィールドに値を入力すると、テキストを小ぶりの大文字で表示できます。値が大きいほど、表示されるテキストも大きくなります。スモールキャブにしないときは0を入力します。スモールキャブは、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。(日本語入力時は機能しません。)
太字(B)	太字(B)ボタンをオンにすると、テキストが太字で表示されます。太字ボタンをオフにすると、太字でない標準のテキストが表示されます。太字は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。
イタリック体(I)	イタリック体(I)ボタンをオンにすると、テキストがイタリック体で表示されます。イタリック体ボタンをオフにすると、イタリック体でない標準のテキストが表示されます。イタリック体は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。
下線(U)	下線(U)ボタンをオンにすると、下線付きのテキストが表示されます。下線ボタンをオフにすると、下線の付かない標準テキストが表示されます。下線は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。
参照	[参照]ボタンをクリックすると、[フォント一覧]ダイアログが開きます。[フォント一覧]ダイアログからフォントを選択することができます。選択したフォントは、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。

テキストのサイズを変更する

[属性]タブまたはマウスを使って、テキストのサイズを変更することができます。テキストのサイズ変更は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。

高さとの比率を保ったままサイズを変更する

- 1 サイズを変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [高さ]と[幅]のフィールドのとなりにある[縦横比固定]ボタンをクリックしてオンにします。
- 4 [高さ]または[幅]のフィールドで値を変更します。どちらの値を変更しても、自動的にもう一方が設定されます。

高さとの比率を個別に変更する

- 1 サイズを変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [高さ]と[幅]のフィールドのとなりにある[縦横比固定]ボタンをクリックしてオフにします。
- 4 [高さ]または[幅]のフィールドで値を変更します。

マウスを使ってテキストのサイズを変更する

- 1 サイズを変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 テキストボックスの枠線にマウスポインタを移動し、マウスポインタが幅または高さのサイズ変更ハンドルに切り替わる位置を見つけます。
- 3 テキストボックスの枠線をドラッグしてサイズを変更します。



テキストのフォントを変更する

TitleExpressでは、ご使用のシステムにインストールされているTrueType(TT)フォントを使用することができます。フォントの変更は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。

- 1 フォントを変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [フォント]ドロップダウンリストまたは[フォント一覧]ダイアログボックスからフォントを選択します。

[フォント一覧]ダイアログを使う

[参照]ボタンをクリックします。

[フォント一覧]ダイアログでは、すべてのフォントをサンプルテキストで確認しながら選択することができます。リストからフォントを選択し、[OK]をクリックしてダイアログを閉じます。

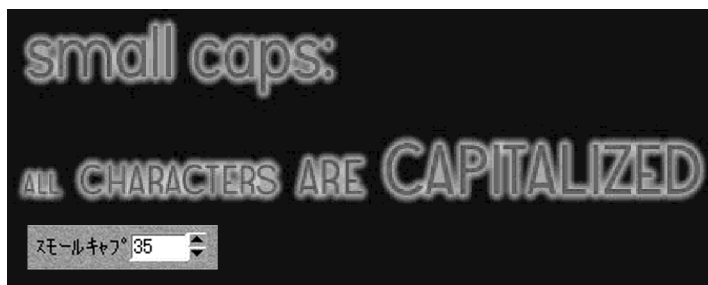
[フォント一覧]ダイアログのサンプルテキストを変更する

- 1 [ファイル]→[環境設定]を選択して、[環境設定]ダイアログを開きます。
- 2 [フォントスタイルのサンプル]の3つのフィールドのうち、右端のフィールドに新しいサンプルテキストを入力します。
- 3 [OK]をクリックして、ダイアログを閉じます。

スモールキャプを使用する

スモールキャプ(小ぶりの大文字)は、テキストの行全体、選択した文字列、テロップ全体のいずれにも適用することができます。

- 1 スモールキャプにしたいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [スモールキャプ]のフィールドに値を入力します。値が大きいほどスモールキャプのテキストが大きくなります。テキストをスモールキャプにしない場合は、[スモールキャプ]のフィールドに0を入力します。



テキストを斜体にする

テキストに任意の傾きを付けます。斜体は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。

- 1 斜体にしたいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [斜体]のフィールドに値(角度)を入力します。プラスの値を入力するとテキストは右に傾き、マイナスの値を入力するとテキストは左に傾きます。

備考

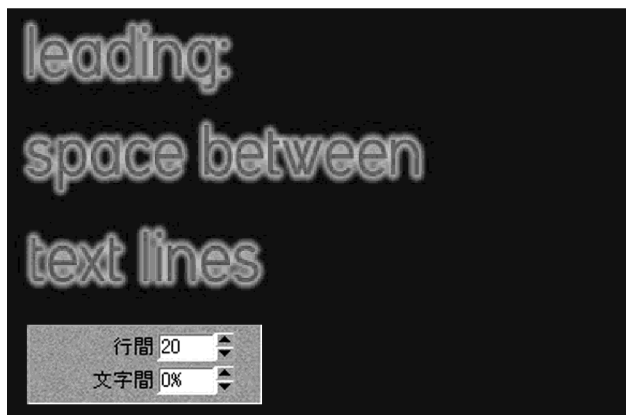
テキストを斜体にしない場合は、[斜体]のフィールドに0を入力します。



テキストの行間を設定する

行間の設定は、選択した文字列とそれ以降の全テキストに適用されます。

- 1 行間を設定したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [行間]のフィールドに値を入力します。
- 4 [エレメント]→[行間の適用]を選択します。

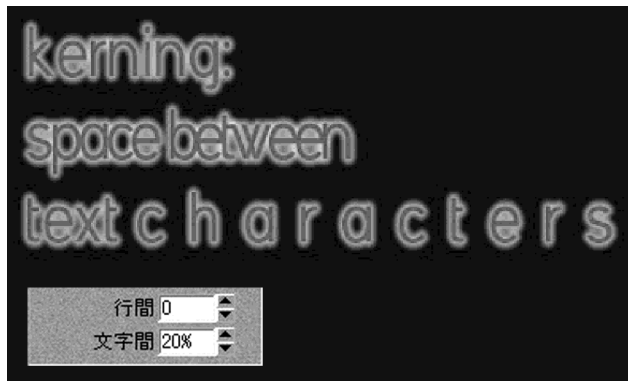


テキストの文字間を設定する

文字間は、フォントのデフォルトの文字間隔に対するパーセント値で指定します。

文字間の設定は、テキストの行全体または選択した文字列のいずれにも適用することができます。

- 1 文字間を設定したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [文字間]のフィールドに値を入力します。



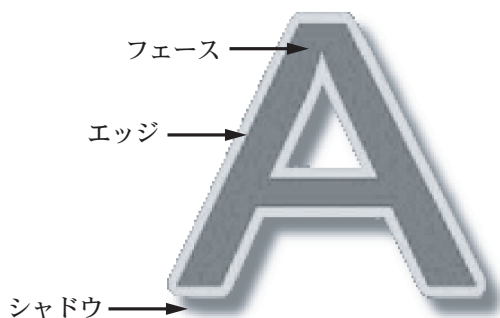
テキストの要素を変更する

TitleExpressのテキストはフェース(面)、エッジ、シャドウ(影)の3つの要素で構成されます。この3要素のそれぞれについて、色、サイズ、透過性を変更することができます。

フェースは、テキストの実質的な形状をなすもので、文字の最上層の要素です。

エッジは文字の中間層の要素で、フェースより外側に一定数のピクセルだけ広がりを持った色付きまたは透過性の単一層です。フェースの陰になるエッジ層は、フェースを透過をしない限り通常は隠れています。

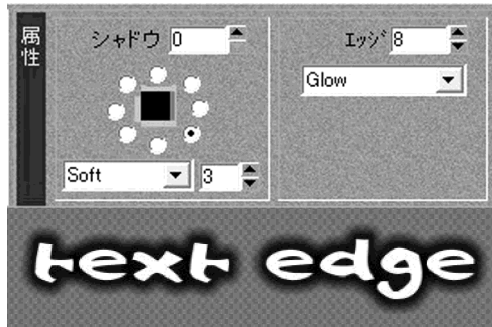
シャドウは、文字の最下層の要素で、一定数のピクセルだけフェースからオフセットした色付きまたは透過性の単一層です。シャドウのタイプは、シャドウの体裁オプションによって設定します。フェースおよびエッジの陰になるシャドウ層は、フェースおよびエッジを透過をしない限り通常は隠れています。



テキストのエッジを設定する

テキストにエッジを付けることにより、シャドウや背景に対してテキストをくっきりさせたり、ぼかしたりすることができます。エッジを付けるには、エッジのタイプとサイズの2つを設定します。

- 1 エッジを設定したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [エッジ]のフィールドに値を入力して、エッジのサイズを設定します。
- 4 ドロップダウンリストからエッジのタイプを選択します。



テキストのエッジを浮き出し(エンボス)処理する

浮き出しエッジにすると、文字が背景から浮き出るように見えます。浮き出し(エンボス)効果を高めるためには、フェースの色とエッジの色を背景画像にうまく調和させる必要があります。

- 1 浮き出し処理したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 エッジタイプのドロップダウンリストから[Emboss](浮き出し)を選択します。
- 4 [エッジ]フィールドに値を入力します。エッジのサイズを小さくした方が、浮き出しエッジがきれいに見えます。

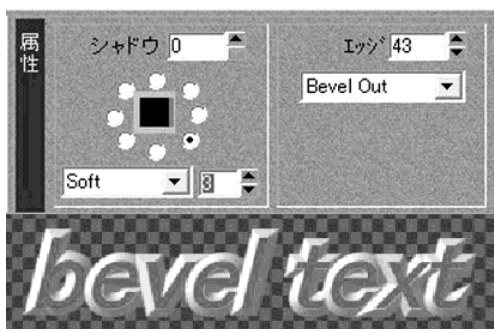


- 5 [色]タブを選択します。
- 6 [エッジ]チップをクリックします。
- 7 [全体/上/下]チップを1回ないし2回クリックして[上]を表示します。(デフォルトでは[全体]が表示されています。)
- 8 カラーセレクタを使って、エッジの上端が背景よりわずかに明るくなるようにします。
- 9 [全体/上/下]チップを1回ないし2回クリックして[下]を表示します。
- 10 カラーセレクタを使って、エッジの下端が背景よりわずかに暗くなるように設定します。フェースの色と同系色の背景画像を使うと、浮き出し効果が高まります。

テキストのエッジに斜面(ベベル)を付ける

エッジに斜面(ベベル)を付けると、普通の平面文字が立体文字のように見えます。テキストの内側または外側に斜面を付けることができます。

- 1 エッジに斜面を付けたいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 エッジタイプのドロップダウンリストから[Bevel Out](外側斜面)または[Bevel In](内側斜面)を選択します。



テキストのシャドウを設定する

テキストにシャドウを付けるには、シャドウのタイプ、サイズ、角度の3つを設定します。シャドウをぼかしたいときは、さらにぼかしの度合いも設定します。

- 1 シャドウを付けたいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [属性]タブを選択します。
- 3 [シャドウ]のフィールドに値を入力して、シャドウのサイズを設定します。
- 4 シャドウチップの周りがあるラジオボタンを選択して、シャドウの角度を設定します。
- 5 シャドウタイプのドロップダウンリストからタイプを選択します。[Soft](ソフト)を選択した場合は、ぼかしの度合いの値をフィールドに入力します。

スタイルを利用する

スタイルは、高さ、色、エッジサイズ、シャドウの設定など、一連のテキスト属性を定義します。TitleExpressによるテキストはすべて何らかのスタイルに基づいています。スタイルを定義していない場合は、デフォルトのスタイルでテキストの書式が設定されます。

テキストにスタイルを適用すると、テキストとそのスタイルが関連づけられます。テキスト行の属性を変更すると、同じスタイルで書式設定された他のテキストの属性も変更されます。

スタイルチップを利用する

各テロップテンプレートで使用可能なスタイルは、すべて[スタイル]タブのスタイルチップに収められています。すべてのスタイルは番号で識別され、各チップの右下隅に番号が表示されています。スタイルチップの上にマウスポインタを置くと、ツールチップが数字およびスタイルの使用フォントを表示します。数字は走査線数によるフォントの全高を示しています。

次の手順により、テキストにスタイルチップを適用します。


- 1 スタイルを変更したいテキスト上をクリックします。
- 2 [スタイル]タブを選択します。
- 3 使用したいスタイルチップをクリックします。

スタイルライブラリでテキストスタイルを管理する

[スタイルライブラリ]にはテキストのスタイルがまとめられています。TitleExpressにはさまざまなテキストスタイルが用意されていますが、それ以外のスタイルを購入することもできます。詳細については、<http://www.titlemotion.com>にアクセスしてください。

スタイルライブラリは、お手持ちのスタイルをどのテロップにも使えるようにするもので、TitleExpressのテキストスタイルを迅速かつ容易に整理・検索するのに役立ちます。また、スタイルライブラリを使うと、同じテロップテンプレートを使わなくてもテロップ間でテキストスタイルを転送することができます。

[スタイルライブラリ]ダイアログを開く

ツールバーの[スタイルライブラリ]ボタン  をクリックするか、[スタイル]タブを選択します。[スタイル]タブを選択した場合は、いずれかのスタイルチップを右クリックして、ポップアップメニューから[スタイルライブラリを開く]を選択します。

テキストスタイルを上書きする

スタイルライブラリを使って、ワークスペース内の現在のテキストスタイルでテキストスタイルを上書きできます。

- 1 [スタイルライブラリ]ダイアログを開きます。
- 2 リストからスタイルを選択します。
- 3 [上書き]ボタンをクリックします。
選択したテキストスタイルを現在設定中のスタイルで上書きするかどうかを確認されます。
- 4 [はい]をクリックして、上書き確認のダイアログを閉じます。

テキストスタイルの名前を変更する

スタイルライブラリを使って、テキストスタイルの名前と番号を変更することができます。

- 1 [スタイルライブラリ]ダイアログを開きます。
- 2 リストからスタイルを選択します。
- 3 [名前の変更]ボタンをクリックします。
- 4 [スタイル名変更]ダイアログで、スタイルテンプレートの番号と名前をフィールドに入力します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、[スタイル名変更]ダイアログを閉じます。

テキストスタイルを読み込む

スタイルチップまたはスタイルライブラリを使って、作成済みの特定のテキストスタイルを使用することができます。

スタイルチップを使う

- 1 [スタイル]タブを選択します。
- 2 任意のスタイルチップをクリックします。

スタイルライブラリを使う

- 1** [スタイルライブラリ]ダイアログを開きます。
- 2** リストからスタイルを選択します。
スタイルのサムネールがプレビューウィンドウに表示されます。
- 3** [スタイルの読み込み]ボタンをクリックすると、選択されたスタイルチップにスタイルテンプレートが転送されます。
選択されたチップの属性は、スタイルライブラリから転送された新しいスタイルの属性に置き換えられます。

名前リストを利用する

名前リストを使うと、テロップですでに作成されているテキストを簡単に変更することができ、既存のテキストをキーボード入力で編集する必要がありません。名前リストは、TitleExpressで新たに作成して管理することも、名前リストのテキストファイルをインポートして変更することも可能です。

名前リストは、オンエア中に名前や場所の情報をテロップで流したり、結婚式のビデオ画像にタイピングよくテロップを付け加えるなどの用途があります。

名前リストを作成して使用する

テロップに使用することの多いテキストを名前リストに登録し、管理することができます。名前リストでテキストを選択すると、そのテキストがテキストボックス内に表示されます。

作成した名前リストはどのテロップテンプレートでも使用できます。

[名前リスト]にテキストを追加する

[テキスト編集]タブをクリックします。テキストボックスにテキストを入力してから[名前テーブル]ボックスの[アイテム挿入]ボタンをクリックします。

[名前リスト]からテキストを削除する

[テキスト編集]タブをクリックします。テキストを選択してから[名前テーブル]ボックスの[アイテムを削除]ボタンをクリックします。

ご注意

作業内容を保存しても、名前リストは保存されません。

名前リストを再度使用する場合は、テキストファイルをインポートしてください(次項参照)。

名前リストをインポートする

テキストファイルをインポートして、名前リストとして使用することができます。ASCII、ANSI、MS-DOSなど、プレーンテキスト形式のテキストファイルを使用します。

- 1 [ファイル]→[名前リストをインポート]を選択します。
- 2 [テキストをインポート]ダイアログで、インポートするファイルを選択します。
- 3 [開く]ボタンをクリックすると、選択したファイルが名前リストとしてインポートされます。
- 4 [テキスト編集]タブを選択します。
- 5 ワークスペース内の変更したいテキストをクリックします。
- 6 [名前リスト]内のテキストをダブルクリックして、ワークスペース内の選択したテキストを置き換えます。

ご注意

作業内容を保存しても、名前リストは保存されません。

名前リストを再度使用する場合は、テキストファイルをインポートしてください。

テキストの位置を決める

テキストを移動する

マウスを使って、テキストをワークスペース内で移動することができます。

- 1 テキストボックスの枠線の上にマウスポインタを移動し、マウスポインタがテキストの移動ハンドルに切り替わる位置を見つけます。
- 2 テキストボックスを任意の位置へドラッグします。




テキストを少しずつ移動する


キーボードのカーソルキーを使うと、テキストを1ピクセルずつまたは10ピクセルずつ移動することができます。

移動したいテキストを選択して、次のいずれかの操作を行います。

- ・ Altキーを押したままカーソルキーを押すと、押すたびに1ピクセルずつテキストが移動します。テキストは上下左右に移動できます。
- ・ ALTキーとCTRLキーを押したままカーソルキーを押すと、押すたびに10ピクセルずつテキストが移動します。テキストは上下左右に移動できます。

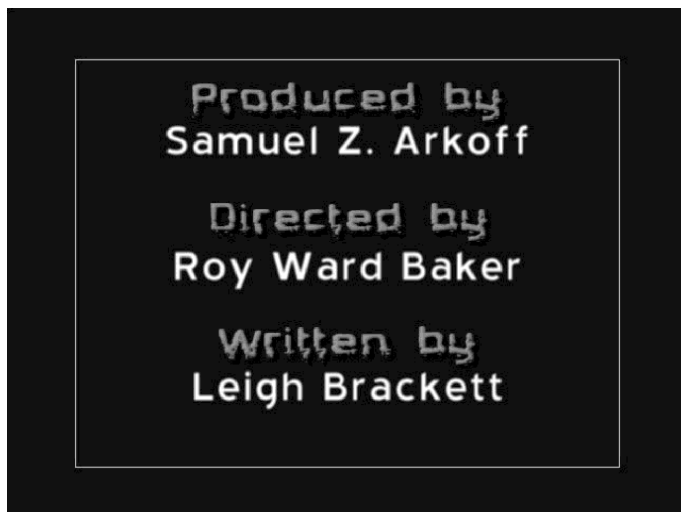
テキストを中央にそろえる

[全てのテキストを中央に揃える]ボタン  を使うと、横書きのテキストをワークスペース内で水平方向にセンタリングします。


- 1 テキストをクリックして選択します。
- 2 ツールバーの[全てのテキストを中央に揃える]ボタン  をクリックして、テロップ内のすべてのテキストをセンタリングします。


テキストのセンタリングを解除するには

センタリングを実行した直後であれば、[編集]→[元に戻す]を選択するか、Ctrlキーを押したままZキーを押します。



テキストを左にそろえる


[全てのテキストを左に揃える]ボタン  を使うと、すべての横書きのテキスト行をワークスペースの一番左のタブストップにそろえます。


- 1 テキストをクリックして選択します。
- 2 ツールバーの[全てのテキストを左に揃える]ボタン  をクリックして、テロップ内のすべてのテキストを左揃えします。

テキストの左揃えを解除するには

左揃えを実行した直後であれば、[編集]→[元に戻す]を選択するか、Ctrlキーを押したままZキーを押します。

テキストを右にそろえる

[全てのテキストを右に揃える]ボタン  を使うと、すべての横書きのテキスト行をワークスペースの一番右のタブストップにそろえます。

- 1 テキストをクリックして選択します。
- 2 ツールバーの[全てのテキストを右に揃える]ボタン  をクリックして、テロップ内のすべてのテキストを右ぞろえします。

テキストの右ぞろえを解除するには


右ぞろえを実行した直後であれば、[編集]→[元に戻す]を選択するか、Ctrlキーを押したままZキーを押します。

テキストを自動改行する

自動改行機能を有効または無効にすることができます。

自動改行機能を有効にすると、現在の行に収まりきらない単語が、テロップ内の次の行に自動的に送られます。自動改行機能を無効にすると、テキストが改行されず、スクリーンからはみ出します。デフォルトでは、自動改行機能が有効になっています。

自動改行機能を有効または無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ ツールバーの[自動改行]ボタン  をクリックします。
- ・ [エレメント]→[コントロール]を選択して[自動改行]を表示します。自動改行機能を有効にするときはチェックを付けます。自動改行機能を無効にするときはチェックを外します。
- ・ [ファイル]→[環境設定]を選択して[環境設定]ダイアログを開きます。自動改行機能を有効にするときは、[自動改行]オプションにチェックを付けます。自動改行機能を無効にするときは、[自動改行]オプションのチェックを外します。

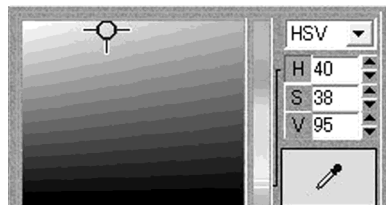
色を設定する

TitleExpressでは、HSV、RGB、HLSの3つのカラーモデルのいずれか1つを使用して色を選択します。3つのカラーモデルは色を定義する方法がそれぞれ異なります。カラーモデルの切り換えはいつでも実行できます。

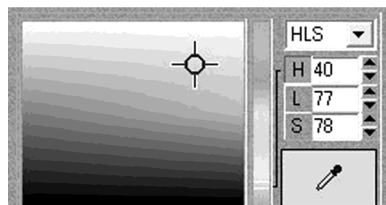
RGBカラーモデルは、ビデオ信号の赤(R)、緑(G)、青(B)の各成分の強さで色を表現します。



HSVカラーモデルは、色相(H)、彩度(S)、明度(V)で色を表現します。



HLSカラーモデルは、色相(H)、明度(L)、彩度(S)で色を表現します。



禁止色を補正する

使用可能な3つのカラーモデルのいずれかを使って色を設定するとき、ビデオのエンコーディングには安全でない色が選択されることがあります。安全でない色(ホットカラーと呼ばれます)は、コンピュータのモニタ画面ではきれいに見えても、ビデオ信号にすると問題を起こします。

テキスト要素の色を選択するときに禁止色を選択すると、カラーピッカーの横に警告とチップが表示されます。

警告は、現在の色がNTSCまたはPAL規格で安全でないことを知らせます。チップは、輝度と基準色補正によりビデオ用として安全な最も近い色を示します。

チップをクリックすると、最も近い安全な色を選択できます。

フェースの色を設定する

フェース、エッジおよびシャドウの色はそれぞれ独立して設定できます。色の他に、傾斜、透過の設定もそれぞれのテキスト要素ごとに行えます。

- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [表面]チップをクリックします。
- 4 [全体/上/下]チップをクリックして、テキストオプションを切り換えます。クリックするたびに、[全体/上/下]チップの表示が[上]、[全体]、[下]に変わります。

チップ表示が[上]のときは：
フェース上部の色を選択します。



チップ表示が[下]のときは：
フェース下部の色を選択します。



チップ表示が[全体]のときは：
フェース全体の色を選択します。



- 5 フェースの色を選択します。

色をフェース上部に適用した場合は、[全体/上/下]チップをクリックして[下]表示に切り換え、新しい色を選択することができます。

エッジの色を設定する

フェース、エッジおよびシャドウの色はそれぞれ独立して設定できます。色の他に、傾斜、透過の設定もそれぞれのテキスト要素ごとに行えます。

- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [エッジ]チップをクリックします。
- 4 [全体/上/下]チップをクリックして、テキストオプションを切り換えます。クリックするたびに、[全体/上/下]チップの表示が[上]、[全体]、[下]に変わります。

チップ表示が[上] のときは：
エッジ上部の色を選択します。



チップ表示が[下] のときは：
エッジ下部の色を選択します。



チップ表示が[全体] のときは：
エッジ全体の色を選択します。



5 エッジの色を選択します。

色をエッジ上部に適用した場合は、[全体/上/下]チップをクリックして[下]表示に切り換え、新しい色を選択することができます。

シャドウの色を設定する

フェース、エッジおよびシャドウの色はそれぞれ独立して設定できます。色の他に、傾斜、透過の設定もそれぞれのテキスト要素ごとに行えます。

- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [シャドウ]チップをクリックします。
- 4 [全体/上/下]チップをクリックして、テキストオプションを切り換えます。クリックするたびに、[全体/上/下]チップの表示が[上]、[全体]、[下]に変わります。

チップ表示が[上] のときは：
シャドウ上部の色を選択します。



チップ表示が[下] のときは：
シャドウ下部の色を選択します。



チップ表示が[全体] のときは：
シャドウ全体の色を選択します。



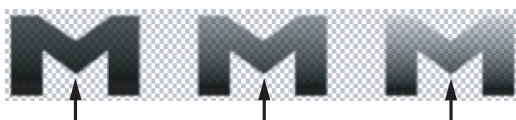
5 シャドウの色を選択します。

色をシャドウ上部に適用した場合は、[全体/上/下]チップをクリックして[下]表示に切り換え、新しい色を選択することができます。

透過性を設定する

透過性は、テキストまたは図形を通して背景の情報が見える度合いを表します。0%透過とは不透明、100%透過とは完全に透明で素通しで見えることを示します。

[透過]の[上]と[下]のフィールドに透過率を設定して、半透明の要素を作り出すことができます。[上下比固定]ボタンをオンにすると、[上]と[下]のフィールドが同じ値に設定され、一方の値を設定すると他方も自動的に設定されます。



上の透過率30% 上の透過率60% 上の透過率90%

上と下の透過率は要素の一部に対してのみ透過性を設定します。上と下にはそれぞれのフィールドで設定した値が反映され、要素の中間の透過率は上の透過率と下の透過率の間で少しずつ変化（傾斜）していきます。傾斜の開始点と終了点は調整が可能で、傾斜の角度（透過率変化の鋭さ）を設定することも可能です。

テキストの透過率を変更する

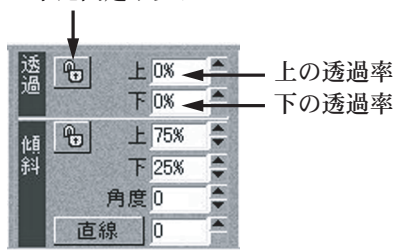
テキストの各要素（フェース、エッジ、シャドウ）には、それぞれ個別に透過情報が含まれています。

- 1 透過率を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [表面]、[エッジ]または[シャドウ]のチップをクリックします。
- 4 [上]透過フィールドに値を入力します。
- 5 [下]透過フィールドに値を入力します。

上と下の透過率を同一にしておきたいときは、[上下比固定]ボタンをオンにします。上の値を変更すると、下の値も連動して変化します。

[上下比固定]ボタンをオフにして、[上]フィールドに大きい数字を、[下]フィールドに小さい数字を入力すると、中間の透過率に傾斜を付けることができます。

上下比固定ボタン



傾斜を設定する

傾斜とは、ある色から別の色へスムーズに移り変わることです。傾斜は、テキストのフェース、エッジ、シャドウの各要素に対して適用することができます。

傾斜を設定するために上と下の色を選択するときは、どのカラーモデルを使ってもかまいません。色の傾斜に透過性を加えて複雑な効果を生み出すこともできます。

傾斜を設定するには、使用する純色の量と傾斜の角度を設定します。%表示の上と下の値は、純色が終わって傾斜が始まる位置を設定するものです。上の値が大きければ大きいほど、テキストの上の方から傾斜が始まります。下の値が小さければ小さいほど、テキストの下の方で傾斜が終わります。たとえば、[上]フィールドを100とし、[下]フィールドを0とすると、傾斜はテキストの一番上から始まり、一番下で終わります。この設定によって得られる傾斜は幅広く、なだらかになります。



[上]フィールドを60とし、[下]フィールドを40とすると、傾斜はテキストの上60%のところから始まり、下40%のところまで終わります。この設定によって得られる傾斜はテキストの20%の範囲に限定されます。



[上下比固定] ボタンを使うと、上と下の値を同時に設定することができます。

単純な色の傾斜を設定する

テキストのフェース、エッジ、シャドウの3要素に対して、それぞれ単純な色傾斜を設定することができます。カラーモデルの値を選択するか、色選択ツールを使って色を選択します。

- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色] タブを選択します。
- 3 [表面]、[エッジ]または[シャドウ]のチップをクリックします。

- 4 [全体/上/下]チップをクリックして、テキストオプションを切り換えます。クリックするたびに、[全体/上/下]チップの表示が[上]、[全体]、[下]に変わります。

チップ表示が[上]のときは：
シャドウ上部の色を選択します。



チップ表示が[下]のときは：
シャドウ下部の色を選択します。



チップ表示が[全体]のときは：
シャドウ全体の色を選択します。

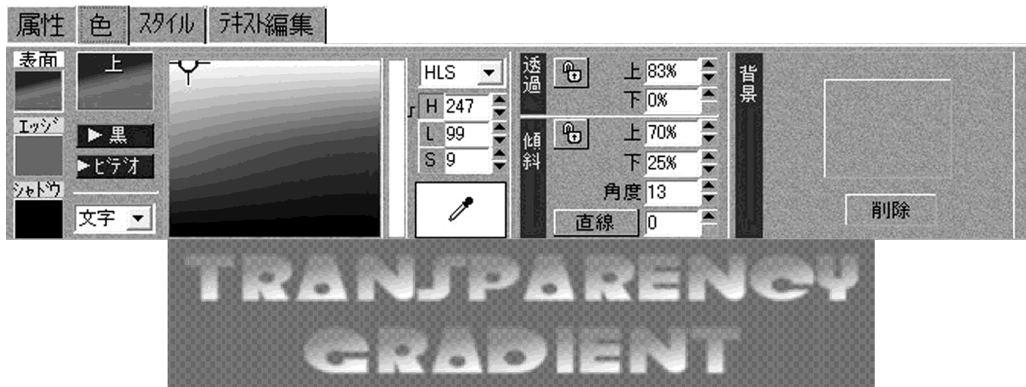


- 5 傾斜の上に対して1つの色を選択し、傾斜の下に対して1つの色を選択します。
- 6 傾斜する位置を変更したいときは、傾斜の[上]と[下]の値を設定します。
- 7 傾斜を転回させたいときは、傾斜の[角度]の値を+90° から-90° までの範囲で入力します。設定した角度に応じて[全体/上/下]チップの分割線が転回します。

透過性の傾斜を設定する

テキストのフェース、エッジ、シャドウの3要素に対して、それぞれ透過性の傾斜を設定することができます。

- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [上]と[下]のそれぞれの透過率を設定します。
[上]と[下]では必ず異なる値に設定してください。傾斜はその対象の中央で生じ、対象の上と下の部分が混ざり合うことはありません。
- 4 傾斜する位置を変更したいときは、傾斜の[上]と[下]の値を調整します。
- 5 それぞれの文字に傾斜をつけたいときは、[文字/行]ドロップダウンリストから[文字]を選択します。
- 6 テキスト全体に傾斜をつけたいときは、[文字/行]ドロップダウンリストから[行]を選択します。
- 7 傾斜を転回させたいときは、傾斜の[角度]を調整します。



線形の傾斜を設定する

テキストに1つまたは複数の線形の傾斜を設定することができます。テキストに適用する傾斜が1つの場合でも複数の場合でも、[上]、[下]、[角度]の各フィールドは同じように機能します。

傾斜が1つの場合は、上の色がテキストの上部になり、下の色がテキストの下部に表示されます。複数の傾斜の場合は、傾斜の繰り返しがそれぞれ線となって見えます。

線形の傾斜を設定するには、色、角度、数を設定します。

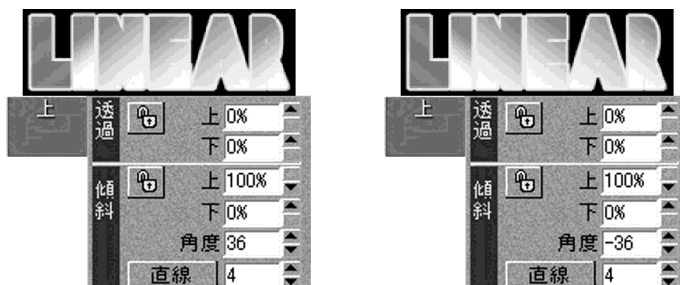
- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [直線/ラディアル]ボタンをクリックして[直線]を選択します。

下図に線形の傾斜を4回繰り返す場合の例を示します。上の値は75%、下の値は0%です。



- 4 傾斜の角度を調整して、傾斜の見え方を変えます。角度の値によって線形の傾斜の仰角が変わります。

下図に、角度の値によって線形の傾斜がどのように変化するかを示します。



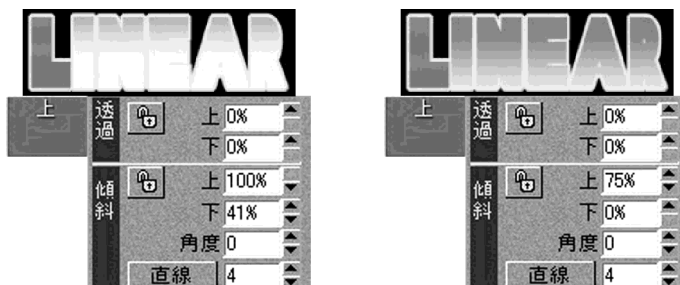
傾斜の角度がプラスの値のときは、傾斜が反時計回りにシフトします。
傾斜の角度がマイナスの値のときは、傾斜が時計回りにシフトします。

- 5 上と下の傾斜の値を調整して、傾斜の開始点と終了点を変更します。

下の値は下からどれだけのところから傾斜が始まるかを設定し、上の値は傾斜が開始点からどこまで広がるかを設定します。

上と下の傾斜の値は傾斜の角度によって変わります。傾斜の角度を変更すると、傾斜の開始点と終了点が変わります。

下図に、下の値によって線形の傾斜がどのように変化するかを示します。

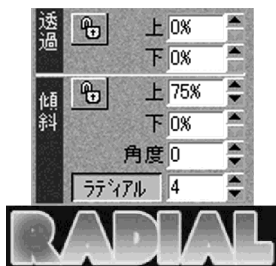


下の値を増やすと、傾斜の開始点が高い位置になります。
上の値を減らすと、開始点から続く傾斜の範囲が狭くなります。

放射状の傾斜を設定する

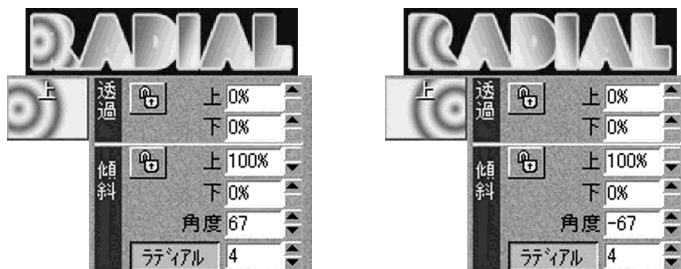
- 1 色を変更したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 [直線/ラディアル]ボタンをクリックして[ラディアル]を選択します。

下図に線形の傾斜を4回繰り返す場合の例を示します。上の値は75%、下の値は0%です。



- 4 傾斜の角度を調整して、傾斜の見え方を変えます。角度の値によって線形の傾斜の仰角が変わります。

下図に、角度の値によって線形の傾斜がどのように変化するかを示します。



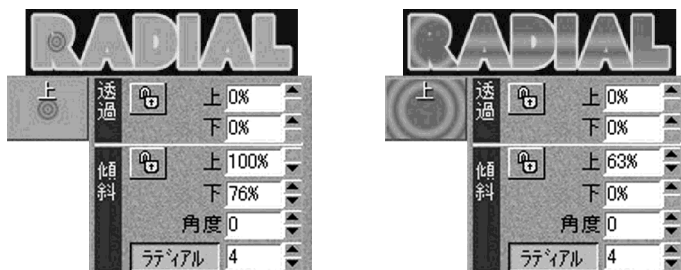
傾斜の角度がプラスの値のときは、傾斜が反時計回りにシフトします。
傾斜の角度がマイナスの値のときは、傾斜が時計回りにシフトします。

- 5 上と下の傾斜の値を調整して、傾斜の開始点と終了点を変更します。

下の値は下からどれだけのところから傾斜が始まるかを設定し、上の値は傾斜が開始点からどこまで広がるかを設定します。

上と下の傾斜の値は傾斜の角度によって変わります。傾斜の角度を変更すると、傾斜の開始点と終了点が変わります。

下図に、下の値によって線形の傾斜がどのように変化するかを示します。

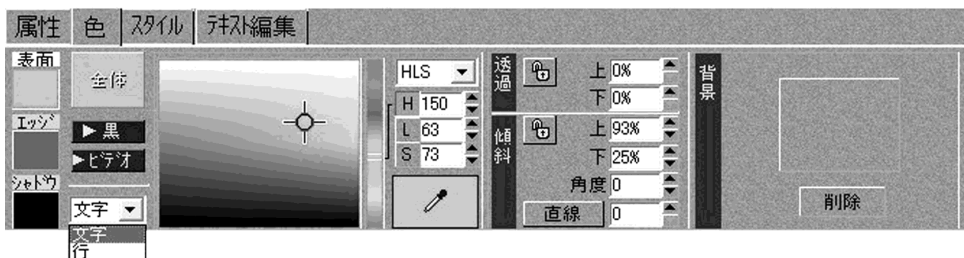


下の値を増やすと、傾斜の開始点が高い位置になります。
上の値を減らすと、開始点から続く傾斜の範囲が狭くなります。

行または各文字に傾斜を設定する

テキストの各文字またはテキスト全体に傾斜を設定することができます。

- 1 傾斜を設定したいテキスト上をクリックするか、文字列を選択します。
- 2 [色]タブを選択します。
- 3 それぞれの文字に傾斜をつけたいときは、[文字/行]ドロップダウンリストから[文字]を選択します。
- 4 テキスト全体に傾斜をつけたいときは、[文字/行]ドロップダウンリストから[行]を選択します。



背景画像を設定する

テキストや図形の後に背景画像を設定することができます。

- 1 [色]タブを選択します。
- 2 [背景]のチップをクリックして[ファイルを開く]ダイアログを表示します。
- 3 背景に設定する画像ファイルを選択します。

画像ファイルのサムネールを見るには

[ここをクリックするとプレビュー表示します]と表示されているチップをクリックします。

- 4 [開く]をクリックします。
画像のサムネールがTitleExpressの[背景]のチップに表示されます。

背景画像を削除する

テロップから背景画像を削除します。

- 1 [色]タブを選択します。
- 2 背景テーブルボックスの[削除]ボタンをクリックします。

テロップから画像が削除され、画像のサムネールが[背景]のチップから消えます。

ロール/クロールを設定する

ロールは、固定した背景の上でテキストや図形を縦方向にスクロールさせる機能です。ビデオ素材や画像の背景上でテキストを垂直にスクロールさせたい場合(例:クレジット)に使用します。ロールテロップでは、改ページ位置に白い点線を表示します。この点線は作業しやすいようにファイルを視覚的に区切るためのもので、ロールの実際の表示とは関係ありません。

クロールは、画面を横切るようにテキストを移動させる機能です。例えば、アナウンスや警告などに使用します。クロールのテキストは1行に制限されることはなく、テロップ内のどこにでも配置することができます。ロールテロップとは異なり、改ページ位置を示す点線は使用しません。テキストはテロップの横方向に続きます、ワークスペース内に表示されるスクロールバーでテキストを横にスクロールさせることにより、長いテキスト行を見ることができます。

なお、ロール/クロールの速度や時間の設定はEDIUS上で行います。

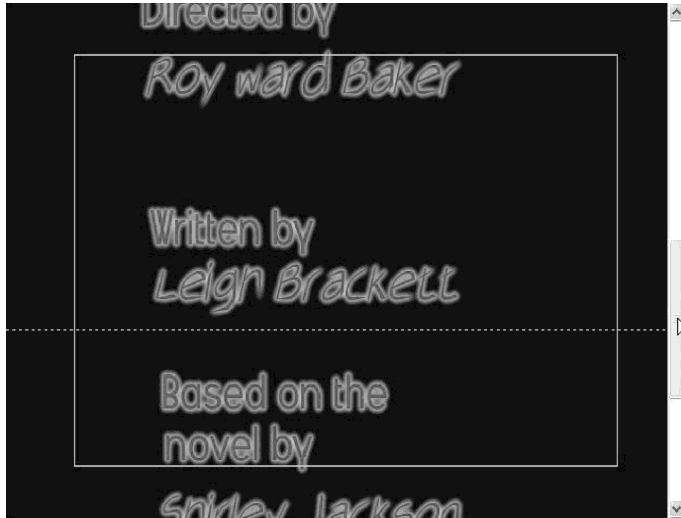
ロール/クロールを選択する

テロップのタイプをロールに設定するには、ツールバーの[テロップタイプ]ドロップダウンリストから[ロール]を選択します。

テロップのタイプをクロールに設定するには、ツールバーの[テロップタイプ]ドロップダウンリストから[クロール]を選択します。

ロール/クロールのテキストを入力する

ロール/クロールを選択してから、キーボードでテキストを入力したり、テキストファイルをインポートすることができます。



ワークスペースにロールのテキストを入力します。



ワークスペースにクロールのテキストを入力します。

ロール/クロールの速度と時間

ロール/クロールの速度と時間はEDIUS上で設定します。

TitleExpress上でロールテロップを伸ばす

ロールテロップを表示し行間を調整して各テキストの間隔を広げることができます。また、ロールの初めや終わりに空白を追加して、ロールの先頭または末尾にゆとりを持たせることもできます。

TitleExpress上でクロールテロップを伸ばす

クロールテロップを表示しテキストに空白を追加します。また、テキストの初めか終わりに空白を追加して、先頭または末尾にゆとりを持たせることもできます。

テロップテンプレートを使用する

テロップテンプレートは、TitleExpressのテロップを定義します。すべてのテロップはテンプレートをベースにしています。テロップを最初から作るときには、デフォルトのテンプレートがベースとなります。


テンプレートにはテキスト、図形およびスタイルが含まれており、同じテンプレートをベースにした複数のテンプレートを収録します。

[テロップテンプレートリスト]にはテロップテンプレートがまとめられており、それぞれのテロップのサムネイル画像が表示されます。現在テロップとして使用するテンプレートをドロップダウンリストから選択します。テンプレートは必要に応じて何度でも変更することができます。

テロップテンプレートを選択する

TitleExpressに用意されているテンプレートの中から1つを選択するか、独自にテロップを作成することができます。新しいテロップテンプレートを選択すると、現在のテロップが置き換えられます。

テロップテンプレートリストから選択する

- 1 ツールバーの[テロップテンプレートリスト]ボタン  をクリックして、[テロップテンプレートリスト]ダイアログを開きます。
- 2 リストから使用したいテロップテンプレートを選択して[テンプレートの読み込み]をクリックします。

テンプレートドロップダウンリストから選択する

- 1 ツールバーの[テンプレート]ドロップダウンリストをクリックします。
テンプレートのリスト上でマウスポインタ移動すると、テンプレートのサムネイルが1つずつ表示されます。
- 2 使用するテンプレートをクリックすると、テロップがワークスペースに表示されます。
必要に応じてテキストを編集、変更します。

テロップを新規作成する

[テロップテンプレートリスト]から[Default Template]を選択して、ワークスペース上の現在のテロップを削除します。空白のテロップを用意してから、テキストを入力するか、[テロップテンプレートリスト]からテロップテンプレートを選択します。


テロップテンプレートを管理する

テンプレートを使用することで、繰り返し何度も使えるレイアウトを作成し、保存することができます。

テンプレートには、単純な下3分の1定義から、ロゴや図形が多数含まれた複雑なレイアウトまで、すべての要素が含まれます。

[テロップテンプレートリスト]はすべてのテロップテンプレートを一括管理します。[テロップテンプレートリスト]を使って、テロップの選択、名前の変更、番号の変更、テロップの上書きを行うことができます。

テロップテンプレートリストを開く

ツールバーの[テロップテンプレートリスト]ボタン  をクリックして[テロップテンプレートリスト]ダイアログを開くか、[ファイル]→[テロップテンプレートリスト]を選択します。

テロップテンプレートの名前および番号を変更する

- 1 [テロップテンプレートリスト]ダイアログを開きます。
- 2 名前を変更するテンプレートを選択します。
- 3 [名前の変更]ボタンをクリックして、[テンプレート名の変更]ダイアログを開きます。
- 4 新しいテンプレート名とテンプレート番号をフィールドに入力します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

テロップテンプレートを現在のテロップで上書きする

- 1 [テロップテンプレートリスト]ダイアログを開きます。
- 2 上書きするテンプレートを選択します。
- 3 [上書き]ボタンをクリックします。
上書きを実行するかどうか確認するダイアログが表示されます。
- 4 [はい]をクリックすると、テロップテンプレートリストに保存されているテンプレートが現在のレイアウトと置き換えられます。[いいえ]をクリックすると、テロップテンプレートリストには保存済みのテンプレートだけが残ります。

テロップを保存する

作成したテロップを保存するには、[ファイル]→[保存]を選択するか、Ctrl + Sキーを押します。

テロップをエクスポートする

作成したテロップは、静止画ファイルまたはICGファイルとしてエクスポートすることができます。InscriberのICGファイルは、Inscriberと互換性のあるアプリケーション間でやり取りすることができます。ICGファイルには、テロップ、テロップのサムネール、およびすべてのテロップ情報が含まれています。

また、エクスポートできる静止画ファイルの形式は以下のとおりです。

BMP、HKF、JPEG、LGO、PCT (PICT、PIC)、RLE、TGA、VII

テロップを画像としてエクスポートする

- 1 [ファイル]→[エクスポート]→[テロップを画像としてエクスポート]を選択します。
- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を指定し、ファイルの種類と保存オプションを設定します。
- 3 [保存]ボタンをクリックします。

テロップをICGファイルとしてエクスポートする

- 1 [ファイル]→[エクスポート]→[ICGファイルをエクスポート]を選択します。
- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を指定します。
- 3 [保存]ボタンをクリックします。

環境設定

TitleExpressの環境設定により、モニタ表示、ビデオ設定、およびテキストのデフォルトをカスタマイズするオプションが設定されます。設定内容はInscribe.iniに保存され、TitleExpressを起動/終了するたびに保守が行われます。

環境設定の内容を下表に示します。

設定項目	設定内容
ウィンドウズガンマ	VGA(コンピュータ)モニタとビデオ出力モニタでは、表示方法や色域が異なります。ウィンドウズガンマのオプションを使用し、ビデオ出力に応じてVGA表示を調整します。[R] (赤)、[G] (緑)、[B] (青)の各チャンネルに、ガンマ値をそれぞれ設定します。各チャンネルのデフォルト値は1.0です。
ビデオディザー	傾斜の見ばえをよくするためにディザフィルタを適用します。ご使用のフレームバッファに応じて設定します。
ビデオ透過パターン	ビデオ透過(またはアルファ背景)パターンは、対象画像またはテロップのビデオ透過範囲を示します。
自動改行	1行に収まりきらないテキストを次行に送ります。
レイアウト変更の警告	新しいテロップテンプレートを選択したときに警告メッセージを出すかどうかを設定します。選択すると、新しいテンプレートを選択することによって現在設定されているテロップを変更するかどうか確認するダイアログが表示されます。[テキストコンテンツをそのまま適用する]にチェックを付けると、前回のテキストがそのまま変更後のテンプレートに置き換えられます。
フォントスタイルのサンプル	フィールドが3つあります。左端のフィールドでは、[スタイル]タブおよび[フォント一覧]で表示されるデフォルトのテキストを設定します。中央のフィールドでは、[スタイル]タブのサンプルテキストを設定します。右端のフィールドでは、[属性]タブの[フォント一覧]ダイアログに表示されるサンプルテキストを設定します。

作業効率化のヒント

TitleExpressには、作業をすばやく、簡単に行うことができるいくつかの方法が用意されています。

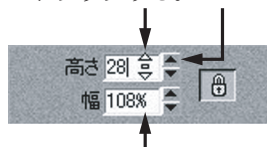
フィールドに値を設定する

TitleExpressのフィールドに値を設定するには次の方法があります。

- ・ フィールドに直接数値を入力する。
- ・ フィールド横の上下矢印をクリックする。
- ・ フィールドをクリックして、マウスを上下にドラッグする。上にドラッグするとフィールド内の値が増加し、下にドラッグすると減少する。

フィールド内の値をダブルクリックすると、デフォルト値に戻ります。

フィールド内をクリックし、
上または下にドラッグする。 矢印キーを使う。



フィールド内をダブルクリックすると、
デフォルト値が設定される。

テキストのサイズを変更する


- ・ 選択したテキストボックスの右上隅または左上隅にマウスポインタを当ててドラッグすると、テロップのテキストの高さと幅を同時にサイズ変更できます。
- ・ 選択したテキストボックスの左右の辺にマウスポインタを当ててドラッグすると、テロップのテキストの幅をサイズ変更できます。



テキストを移動する

テキストボックスにマウスポインタを当ててドラッグすると、テキスト全体をワークスペース内のどこにでも移動することができます。

テロップ内のテキストをすべて中央に揃える

テキストボックスを選択してツールバーの[全てのテキストを中央に揃える]ボタン  をクリックします。

ショートカット

ショートカットキーを使うと、ツールバーやメニューから選択せずに、TitleExpressの機能やコマンドを使用できます。

テキストの書式設定

Ctrl+X	選択したテキストを切り取り、クリップボードに保存します。テキストが選択されていないときは、その行全体が切り取られます。
Ctrl+C	選択したテキストをクリップボードにコピーします。元のテキストはそのまま残ります。テキストが選択されていないときは、すべての範囲がコピーされます。
Ctrl+V	クリップボードの内容を現在選択されているのカーソル位置に挿入します。
Delete	選択したテキストを削除します。テキストが選択されていないときは、カーソル位置の右の文字が削除されます。
Shift+Delete	テキストを行から削除しますが、行はそのまま残り、行間などの書式設定も保たれます。1行すべてを削除しても、テキストのカーソルは残ります。このショートカットは、行内のテキストをすべて置き換えるときに使います。
Ctrl+ - (マイナス)	テンキーのマイナス(-)キーを使います。カーソル右側の文字間を詰めます。
Ctrl+ + (プラス)	テンキーのプラス(+)キーを使います。カーソル右側の文字間を広げます。
Ctrl+Z	直前に行った動作を元に戻します。
Ctrl+A	元に戻した動作を再び行います。
Alt+カーソルキー	選択対象を1ピクセルずつ移動します。
Alt+Ctrl+カーソルキー	選択対象を10ピクセルずつ移動します。

テキストの選択

↑	カーソルを上の方に移動します。
↓	カーソルを下の方に移動します。
Home	行頭に移動します。
End	行末に移動します。
Ctrl+Home	テロップの先頭行に移動します。
Ctrl+End	テロップの末尾行に移動します。
Ctrl+←	単語の先頭に移動します。
Shift+←	カーソル左側の文字を選択します。
Shift+→	カーソル右側の文字を選択します。
Ctrl+Shift+←	カーソル左側の単語を選択します。
Ctrl+Shift+→	カーソル右側の単語を選択します。
Shift+↑	カーソルから前の行までを選択します。
Shift+↓	カーソルから次の行までを選択します。
Shift+Home	カーソルから行頭までを選択します。
Shift+End	カーソルから行末までを選択します。
Ctrl+Shift+Home	カーソルからテロップの先頭までを選択します。
Ctrl+Shift+End	カーソルからテロップの末尾までを選択します。

テロップテンプレートリストのショートカットキー

Ctrl+Shift+R	[テロップテンプレートリスト]ダイアログを開きます。
Enter	[テロップテンプレートリスト]から選択したテロップテンプレートを読み込みます。

一般のショートカットキー

Ctrl+S	テロップを保存します。
Alt+F4	プログラムを終了します。終了する前に作業内容を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
Ctrl+R	[テロップテンプレート]リストを開きます。

カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830 (10:00-12:00、13:00-17:00)

土・日・祝日および当社指定休日を除く